

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和5年度 第6号

「クラスがまとまるために」

校長 小早川 靖樹

今年度の文化総合発表会は、体育館の大規模工事のため、メイシアターでの開催となりました。開会の挨拶でも話しましたが、メイシアターはプロの音楽家の人たちも使っている施設です。私も舞台に立ったとき、拍手が天井から降り注いでくるような不思議な感覚を体験しました。そのような素晴らしい舞台に立てたことは、みなさんにとって貴重な経験になったのではないのでしょうか。

さて、今年度の文化総合発表会は、全学年が合唱コンクールを行いました。全学年が揃うのは、実に4年ぶりとなります。学年ごとで実施していたときも、それぞれの学年のカラーが出ていて、とてもアットホームな雰囲気が出ていました。しかし、今年度の文化総合発表会を見て、やはり全学年が揃うことは大切なのだなと改めて感じました。

全学年が揃った文化総合発表会で素晴らしいなと思った点は、上の学年は、下の学年が頑張っているのを見て、さらにひとつ上の力を発揮できたところです。1年生が元気な声で歌うと、2年生はそれ以上に大きな声で、しかもきれいな音程で歌っているのです。3年生はさらに強弱をうまく取り入れながら素敵なハーモニーを聞かせてくれました。

また、3年生の発表を見て、1・2年生は、「3年生になるとこんな風に歌えるんだ・・・。」「よし、次はもっと上手に歌おう！」など、下の学年がとても良い刺激を受けることができたのではないのでしょうか。

3年生の合唱練習の様子を見ていると、パートリーダーや指揮者等が前に出て、音程の確認、声の強弱、歌う姿勢などのアドバイスをしていました。また、それを聞いている人たちも、そのリーダーの言葉をしっかりと受け止めていたように思います。

リーダーは、集団をまとめ、集団がめざす方へ導くことが求められています。十人十色と言われますが、人の考え方は多種多様で、まとめることはなかなか難しいです。合唱コンクールのように、クラスが一つの目標に向かって進むと決めたときでも、なかなかうまく進まないことがあります。そんなときリーダーは、クラスをまとめ、引っ張っていく必要があります。

ただ、リーダーだけが頑張っているだけでもクラスはまとまりません。やはり、リーダーを支えるメンバーの存在がとても大切だと思いました。3年生の練習の様子を見ていると、クラスのメンバーがリーダーをうまくフォローしていたように思います。10月には体育大会がありますが、リーダーを中心に各クラスがどのようなまとまりをみせてくれるのか、リーダーをフォローする人数の多さが勝敗のカギとなるはずです。全員でフォローし合う姿を楽しみにしています！

☆吹田市 中学生平和大使

吹田市では5年に1度、「中学生平和大使」が吹田市民の代表として8月5・6日に広島市を訪問します。本校からは さん（第2学年）が選ばれ、平和記念式典参列等を行ってきました。 さんが記した報告を紹介します。

私は、初めて会う14名の中学生と平和大使として広島へ行きました。

初日はまず原爆資料館に行きました。資料館では、「原爆小頭症」「ケロイド」など、今まで知らなかった被害についても知りました。原子爆弾に含まれる放射能で様々な病気や被害が及びましたが、その原因が放射能なのだということを日本人が知ったのは終戦から10年以上も経った後だったそうです。これを「空白の10年」と言います。これには本当に驚きました。1945年8月6日午前8時15分17秒の時点で広島にいなかった人も肉親や友人を探し広島に行き、黒い雨に打たれた人たちが被爆者となりました。黒い雨とは、放射能が水に溶けて蒸発され、雨となって降ったものです。

絵や写真はとても怖く、正直目をそらしたかったです。しかし、それらから目をそらすというのは戦争という問題から目をそらすということと同じだと考えました。私はその問題に正面から向き合っていくべきだと考えました。

また小野寺さんという語り部さんの話を聞きました。その方は被爆者ではありませんでしたが、被爆者の細川さんから聞いた原爆投下後のお話を、私たちにも伝えてくださいました。

首に大きなガラスが突き刺さり亡くなっている人、「水を！」と訴えかける中学生、河原にはむごい姿をした人たち。そして、体が真っ黒になった最愛の妹の姿。妹の瑤子さんは爆心地からわずか600mほどの場所で被爆したそうです。学徒動員の建物疎開を行っていて、遮るものがなく、その場にいた全員が亡くなりました。彼女は即死を免れ小学校に運ばれましたが、その夜に亡くなりました。その最期に付き添っていた方が当時の様子について細かく記してくださいました。そして、それが細川さんの元へと届きました。細川さんは妹の最期の様子を知ることができたこと、また、なかなかない遺骨もあるということは感謝しかない、とおっしゃったそうです。このことを聞いて、私は改めて「今」というのは奇跡が積み重なったものなのだな、と思いました。

翌日の平和記念式典は暑い中、本当にたくさんの方が集まりました。年齢も出身地もばらばらです。一般参列者の方でも外国の方がとても多かったです。こども代表の挨拶はとても感動しました。参列していると、テレビで観ているときには気づかなかったことが多く、とても驚きました。

戦争についてたくさん学ぶことができたこと、平和について話し合える新しい友達ができたと、とても良い経験ができたと思います。私たち皆が戦争について関心を持ち、スピリッツドナーとして平和な世界を作っていくべきだと思いました。

☆米沢富美子こども科学賞・第37回吹田市子ども科学作品展

夏休み前にお知らせし、本校からも応募がありました。9月21日に受賞作品が発表され、下記の生徒が受賞しました。

科学奨励賞	(第1学年)	※中学生の受賞は	さんだけです!
テーマ	「どうすれば真っ直ぐ落ちる?~葉書を真っ直ぐ落とす方法に迫る~」		
校内での授賞式は、2学期の終業式に行います。			

☆文化総合発表会

9月25・26日に文化総合発表会を行いました。今年度は体育館の改修工事のため、メイシアターでの実施となりました。



1日目(25日)は舞台発表のリハーサルと展示準備、そして来年度からの新制服のお披露目を行いました。胸部のエンブレムは生徒会がデザインを募集し、さん(第2学年)のデザインが採用されました。



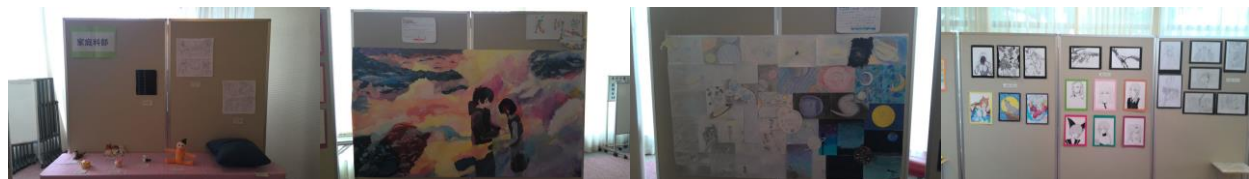
2日目(26日)は、合唱コンクール・ダンス部・吹奏楽部の舞台発表と美術部・家庭科部の展示発表がありました。

【合唱コンクール 第1学年】



	学年合唱	My Own Road
	4組	夢を追いかけて
	2組	大切なもの
	1組	怪獣のバラード
金賞	3組	COSMOS
	5組	With You Smile
銀賞	6組	この星に生まれて

【展示発表(家庭科部・美術部)】



【合唱コンクール 第2学年】



	学年合唱	HEIWAの鐘
	4組	あなたへ
金賞	6組	変わらないもの
	1組	かえられないもの
	2組	Tomorrow
銀賞	3組	この地球のどこかで
	5組	明日へ

【合唱コンクール 第3学年】



	学年合唱	手紙~拝啓十五の君へ~
銀賞	3組	キミのもとへ...
	4組	遥か
	2組	輝くために
	6組	ふるさと
金賞	1組	旅立ちの時~Asian Dream Song~
	5組	虹

【舞台発表(ダンス部)】



【舞台発表(吹奏楽部)】

